



2023年12月期第1四半期
決算補足説明資料

2023年5月12日

株式会社
テノ・ホールディングス (証券コード：7037)

teno.
HOLDINGS

<u>Section 1</u>	決算概要 (全社)	2023年12月期第1四半期
<u>Section 2</u>	決算概要 (セグメント別)	2023年12月期第1四半期
<u>Section 3</u>	業績予想 中期経営計画と長期ビジョン	2023年12月期
<u>Section 4</u>	トピックス	

Section 1

決算概要
2023年12月期第1四半期
(全社)

増収・減益

（単位：百万円）	2022/12月期1Q	2023/12月期1Q	前年増減比（%）	前年増減額
売上高	2,954	3,389	14.7	434
売上原価	2,489	2,888	16.0	399
販管費	369	440	19.2	70
営業利益	95	59	▲37.3	▲35
経常利益	111	76	▲31.3	▲34
当期純利益	59	18	▲69.2	▲40

1

売上高

- 前年4月以降に開設した保育施設の売上寄与による増収
- 株式会社フォルテの通期寄与と前年4月に開設した施設の売上寄与による増収
- 株式会社ホームメイドクッキングの売上寄与

2

費用

- 保育所におけると労務費及び経費（水道光熱費等変動費）が増加
- 保育士の採用に関する費用の減少
- 株式会社ホームメイドクッキングの通期寄与による費用の増加とのれん償却費の発生
- セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社の取得費用の発生

連結損益計算書概要

(単位：百万円)	2022年12月期 1Q	2023年12月期 1Q	増減比 (%)	増減額
売上高	2,954	3,389	14.7	434
売上原価	2,489	2,888	16.0	399
売上総利益	465	500	7.6	35
販管費	369	440	19.2	70
営業利益	95	59	▲37.3	▲35
営業外収益	21	22	9.0	1
営業外費用	4	5	23.6	1
経常利益	111	76	▲31.3	▲34
当期純利益	59	18	▲69.2	▲40

連結貸借対照表概要

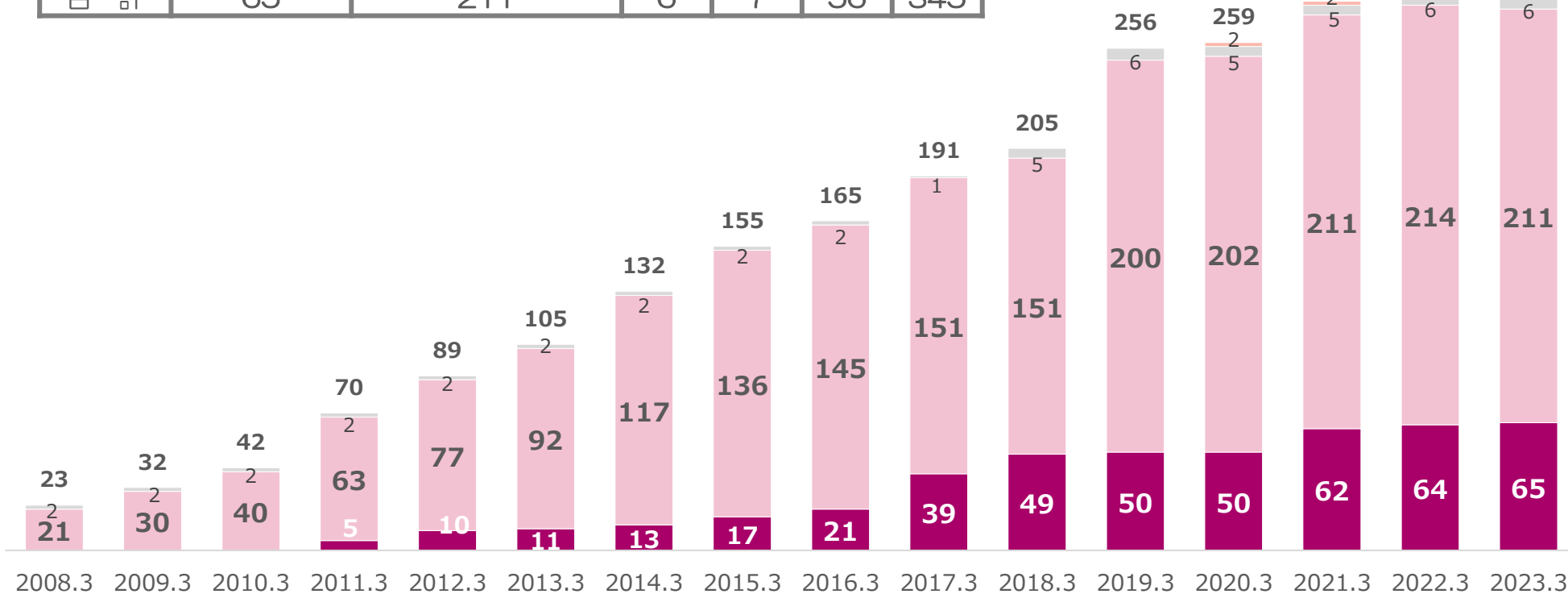
(単位：百万円)	2022年12月期	2023年12月期 1Q	増減額
流動資産	3,989	4,673	+683
売掛金及び契約資産	1,147	1,209	+62
固定資産	5,333	5,768	+435
うち有形固定資産	1,728	1,926	+198
うち無形固定資産	1,865	2,045	+180
うち投資その他の資産	1,739	1,795	+56
資産合計	9,323	10,441	+1,118
流動負債	3,739	5,019	+1,279
うち短期借入金	1,140	2,389	+1,249
うち1年内返済予定長期借入金	652	622	▲29
うち未払金	801	708	▲92
固定負債	3,402	3,264	▲138
うち長期借入金	3,137	2,996	▲140
純資産	2,180	2,158	▲21
負債・純資産合計	9,323	10,441	+1,118

運営施設数の推移（セグメント別）

■ 首都圏、九州を中心に保育施設、介護施設及び料理教室を運営

<2023年3月末 地域別施設別明細表>

	保育事業						介護事業	生活関連支援事業	合計
	認可	小規模認可	受託保育所	学童保育所	わいわい	その他			
首都圏	34	4	3					24	65
九州	3	10	110	59	32	5	3	2	224
関西東海	9	5	7			1	4	19	45
その他								11	11
合計	65		211			6	7	56	345

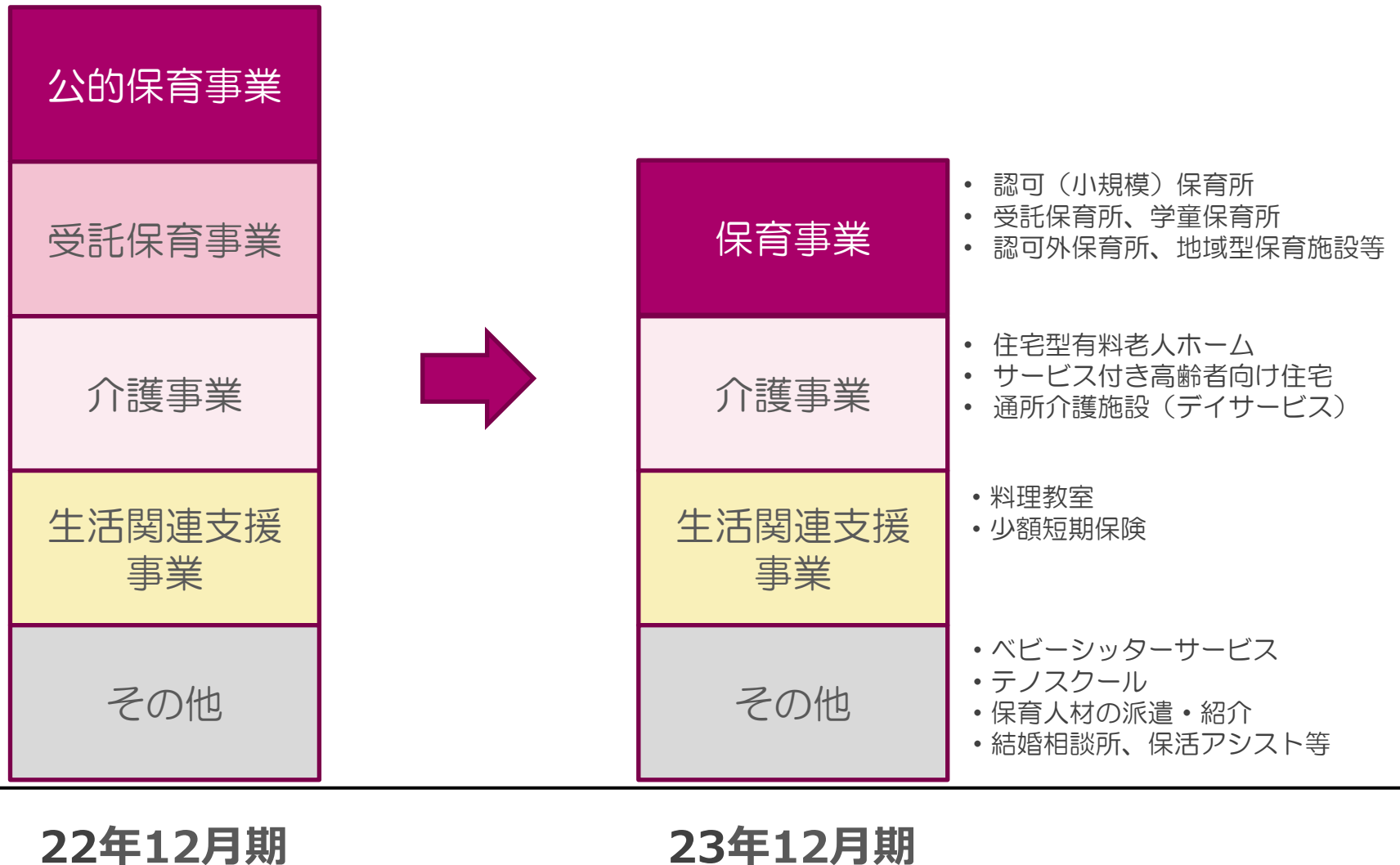


Section2

決算概要
2023年12月期第1四半期
(セグメント別)

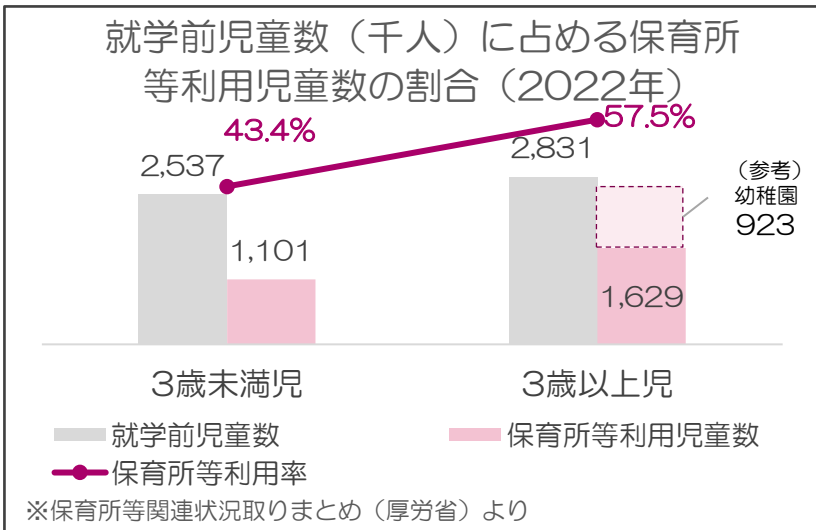
報告セグメントの変更について

- 公的保育事業セグメントと受託保育事業セグメント、及びその他に含まれる認可外保育所、地域型保育施設等を保育事業セグメントへ統一
- 介護事業セグメントでは、その他に含まれる介護施設（デイサービス）を集約いたしました



保育事業

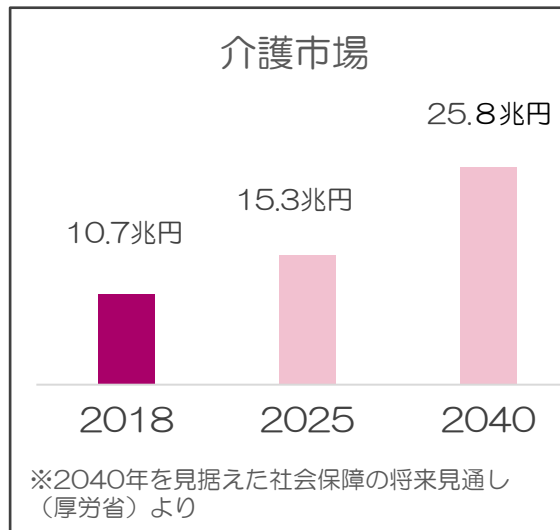
少子化が進む中で、就学前児童数に占める保育所等の利用率は60%未満。一方で、政府は「こども誰でも通園制度」により、保育所を利用できる家庭を拡大させる見通し。



人口の多い地域を中心に保育所の利用者数は拡大すると考え、当社グループは今後も都市部を中心にM&A等により保育所を増やす。

介護事業

日本では高齢化が進む中、介護市場は成長するとみられており、2040年は2018年の約2.5倍となる見通し。



成長市場のため、介護施設数を増やし、また、サービスを拡充させる。

生活関連支援事業

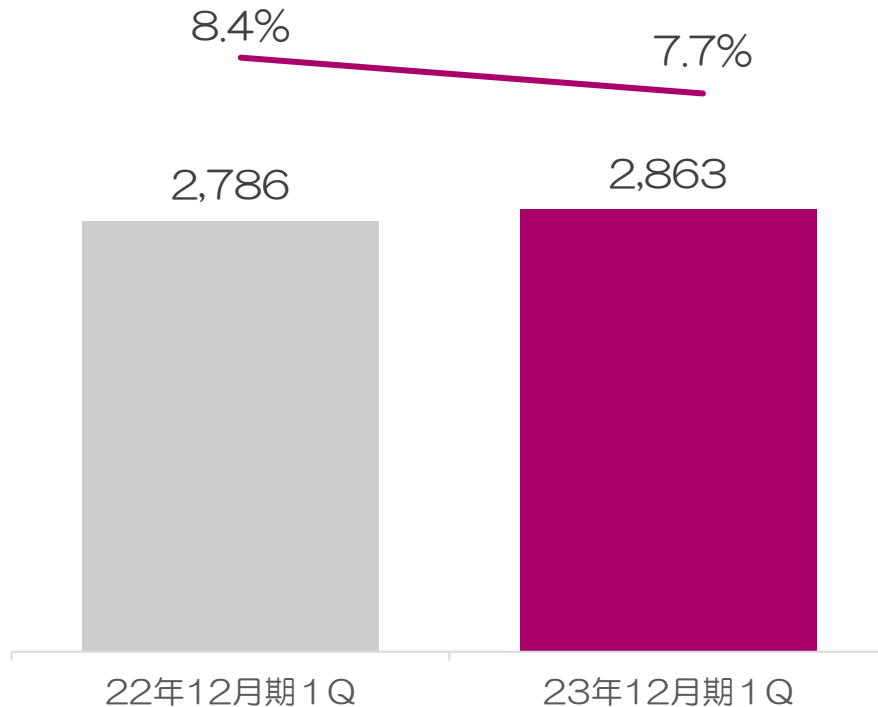
- 政府は少子化対策として、出産、子育てを支援。働きながら子育てをする女性が増加し、家庭への負担が増加する。
- 介護が必要な高齢者が増え、家庭への負担が増加する。

家庭で保育や介護の負担が増える中、女性が働きやすくなり、男性を含めた子育てをするために、家庭生活の支援の重要性、必要性が高まることが想定される。

保育事業や介護事業の拡大とあわせて、生活を支援できるサービスを拡充、拡大させる。

(単位：百万円)	22年12月期 1Q	23年12月期 1Q	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	2,786	2,863	+77	+2.7%
セグメント利益	235	219	▲15	▲6.7%
同利益率	8.4%	7.7%	—	—

売上高／営業利益率



<ポイント>

■ 2023年12月期より、これまでの報告セグメントであった「公的保育事業」、「受託保育事業」及び「その他の一部」を集約し「保育事業」として区分し表示。

■ 収入面は、第1四半期中の新規開設はなかったが、前年4月以降に開設した施設の売上寄与が貢献し、増収。

■ 利益面は、売上原価内の労務費及び経費（水道光熱費等変動費）が増加したことが影響し、減益の主因となった。

■ 変更前の報告セグメントの売上高の数値を参考記載
 公的保育事業 1,943百万円（前期：1,887）
 受託保育事業 848百万円（前期：837）

セグメント別【保育事業（詳細）】

保育事業における、公的保育と受託保育の業績

【公的保育】

増収・減益

(単位：百万円)	22年12月期 1Q	23年12月期 1Q	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	1,887	1,943	+56	+3.0%
セグメント 利益	219	206	▲13	▲5.9%
同利益率	11.6%	10.6%	—	—

- 収入面は、第1四半期中の新規開設はなかったが、前年4月以降に開設した施設の売上寄与や、保育士の処遇改善のための補助金収入増加により、増収。
- 費用面では、処遇改善のための労務費が増加、経費（水道光熱費等変動費、新規開設の保育園の地代家賃）が増加。販管費は採用に関する費用を抑制。

【受託保育】

増収・増益

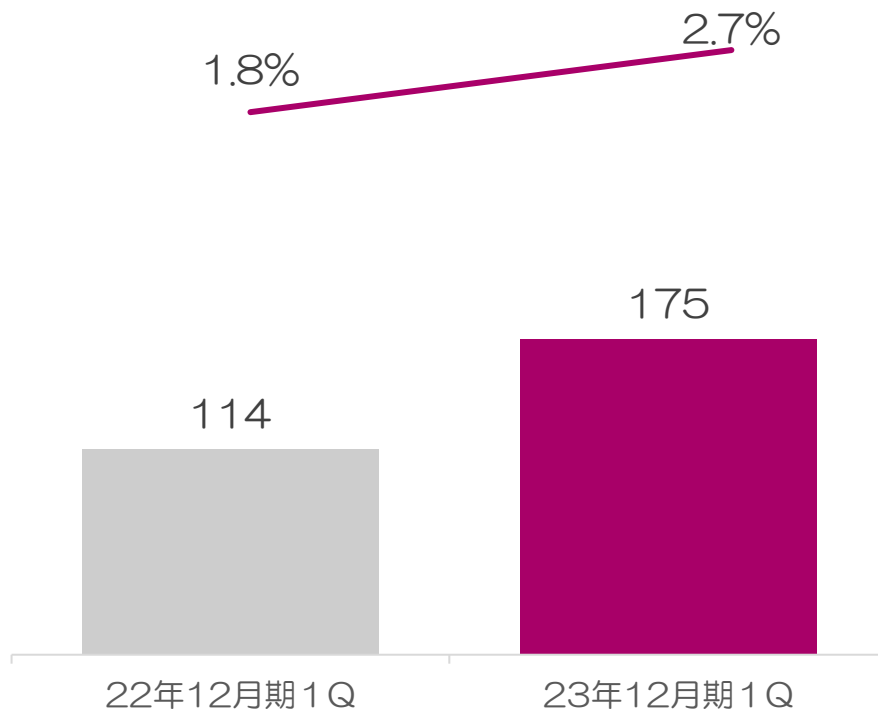
(単位：百万円)	22年12月期 1Q	23年12月期 1Q	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	837	848	+11.4	+1.4%
セグメント 利益	7	12	+5.3	+72.5%
同利益率	0.9%	1.5%	—	—

- 収入面は、前年4月以降に受託を開始した施設の売上寄与により増収。
- 費用面では、保育士の稼働減少により労務費の削減。一方、コロナ補助金の対象となる備品の購入や、学童数の増加により費用が発生。販管費面は、本部の人件費削減や、採用に関する費用を抑制。

※保育事業のうち、上表にはその他に含まれていた6施設の業績は含んでおりません

(単位：百万円)	22年12月期 1Q	23年12月期 1Q	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	114	175	61	53.7%
セグメント利益	2	4	2	127.9%
同利益率	1.8%	2.7%	—	—

売上高／営業利益率



<ポイント>

■ 2023年12月期より、株式会社フォルテが運営する介護施設（サ高住、住宅型有料老人ホーム）に、株式会社テノ、コーポレーション（合併以前は株式会社テノ、サポート）が運営する介護施設（デイサービス）を加えた数値にて表示。

■ 収入面は、株式会社フォルテの通期寄与と前年4月に開設した施設の売上寄与が貢献し、増収。

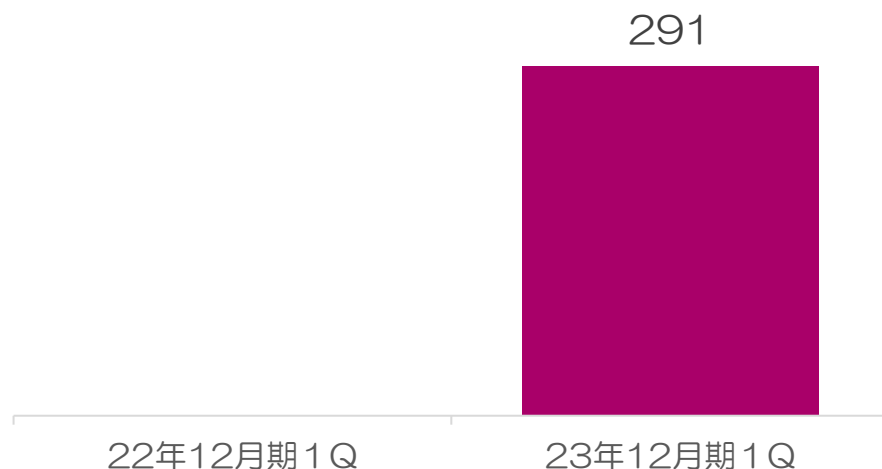
■ 利益面は、デイサービスにおいては前期に比べ施設の稼働状況が改善したことが主因となり、増益。

■ 株式会社フォルテは、来年度新規開設を数施設計画しており、予定通りの開設が遂行できるよう取組み中。

セグメント別【生活関連支援事業】

(単位：百万円)	22年12月期 1Q	23年12月期 1Q	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	—	291	—	—
セグメント利益	—	▲25	—	—
同利益率	—	▲8.7%	—	—

売上高／営業利益率



<ポイント>

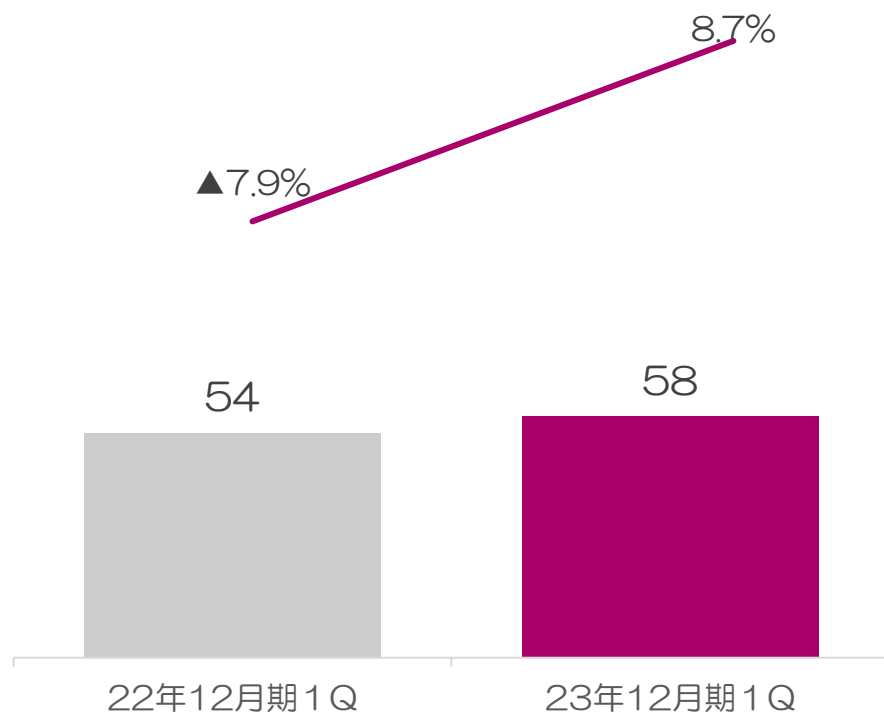
■ 2023年12月期より、セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社（2023年1月子会社化）の経営成績を生活関連支援事業に含め表示。なお、決算期の相違等により、第1四半期ではBSのみ反映。PLへの反映は第2四半期から実施。

■ 生活関連支援事業は、2022年12月期より新たに報告セグメントとして追加。第1四半期においては、株式会社ホームメイドクッキングの経営成績が反映。

■ 料理教室56校の稼働状況は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたこともあり、前年と比べて改善基調にて推移。ただし、2～3月は新規入会者獲得のための費用が先行。またのれん償却もあり、セグメント利益はマイナスとなった。

(単位：百万円)	22年12月期 1Q	23年12月期 1Q	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	54	58	+4	+11.5%
セグメント利益	▲4	5	+9	—
同利益率	▲7.9%	8.7%	—	—

売上高／営業利益率



＜ポイント＞

- 2023年12月期より、その他に区分していた認可外保育所や地域型保育事業施設は、「保育事業」へ集約。また、介護施設（デイサービス）は、「介護事業」へ集約。その結果、その他の主な事業内容は下記の通りへ。
（株式会社テノ、コーポレーション）
保育人材の派遣紹介、ベビーシッターサービス、ハウスサービス、テノスクール（tenoSCHOOL）の運営、結婚相談所事業、保活事業
（オフィス・パレット株式会社）
ベビーシッターサービス、イベント託児サービス、産前・産後ヘルプ事業
- 保育人材の派遣紹介やベビーシッターサービスの売上が増加が貢献。また、コスト削減を実施し販管費が抑制されたことで、その他は増収増益となった。

Section 3

業績予想 2023年12月期
中期経営計画と長期ビジョン

増収・増益予想

(単位：百万円)	2022年 12月期 実績	2023年 12月期 予想	増減率	増減額
売上高	12,128	15,170	+25.1%	+3,041
営業利益	154	320	+107.5%	+165
経常利益	156	285	+82.0%	+128
当期純利益※	▲27	137	—	+164

※親会社株主に帰属する当期純利益

施策（2023年12月期）

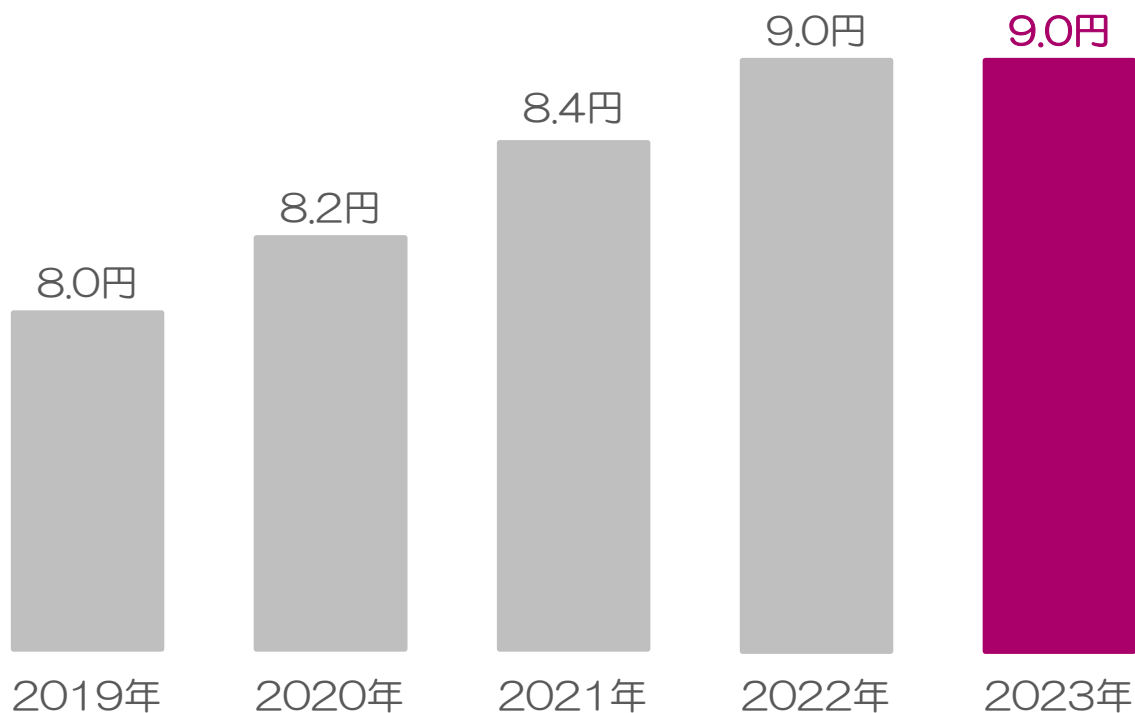
施策		内容	進捗状況
主力事業 の強化	保育事業 (公的保育)	<p>【新規開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の新規開設 2023年4月1日に1施設 <p>【既存施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人材定着率向上のための取り組み継続（チームエンゲージメントセンター） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月に予定通り開設 ・ 継続実施中
	保育事業 (受託保育)	<p>【新規開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規受託の営業活動 目標10施設 <p>【既存施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全な職場作りの推進 ・ 人材定着率向上のための取り組み継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受託保育所5施設、学童保育所9支援単位受託 ・ 安全計画の見直しを実施 ・ 継続実施中
新規事業	介護事業	<p>【新規開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規開設へ向けた取り組み <p>【既存施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設への訪問看護サービス提供 ・ お客様へのサービスの質の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な取り組みを実施中 ・ 一部施設で先行導入中 ・ 新規教育システムの導入等実施中
新規事業	生活関連 支援事業	<p>【料理教室】 & 【少額短期保険】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームメイドクッキング、セーフティージャパン・リスクマネジメントに関するPMIの実施とグループシナジの創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームメイドクッキング：シナジー創出に向けた検討に着手 ・ セーフティージャパン・リスクマネジメント：グループ内の新しい保険の検討に着手
新規事業 開拓	M&A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業拡大へ向けた新たなM&Aへの取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り組み中
その他	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ テノ. コーポレーション、テノ. サポートの吸収合併による業務の効率化 ・ 人事評価制度の再構築による従業員満足度向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月1日合併それぞれの事業を集約した部署を設置 ・ 本社職員の人事評価制度の再構築を実施

利益配分に関する基本方針

当社は、将来の事業計画と財務体質強化のため必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

2023年12月期の配当金について

2023年12月期の配当予想につきましては、**1株当たり9.0円**で実施予定。



社会課題への取り組み

4 質の高い教育を
みんなに



質の高い教育をみんなに

技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



ジェンダー平等を実現しよう

公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。

8 働きがいも
経済成長も



働きがいも経済成長も

若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。

SDGs：ジェンダー平等を実現しよう

5 ジェンダー平等を
実現しよう



男女平等を実現し、
すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう

(経営理念)

私たちは、女性のライフステージを応援します。

私たちは、相手の立場に立って考えます。

私たちは、コンプライアンスを推進します。

私たちは、事業を通して社会貢献致します。

(ビジョン) 女性が活躍する社会の創造

(戦略) 女性が活躍する事業展開

テノ、グループSDGs行動計画

(2022年5月31日)

当社グループはSDGsの課題解決を重要な経営課題と捉え、ジェンダーに関係なく、個人のライフステージに合わせて働き続けられる社会の実現を目指し、国際社会が追求する社会課題の解決に貢献することで企業価値の向上と持続的な社会の実現に取り組みます。



テノ、グループは「ジェンダー平等」にコミットします

ゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」のうち

5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯
・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。

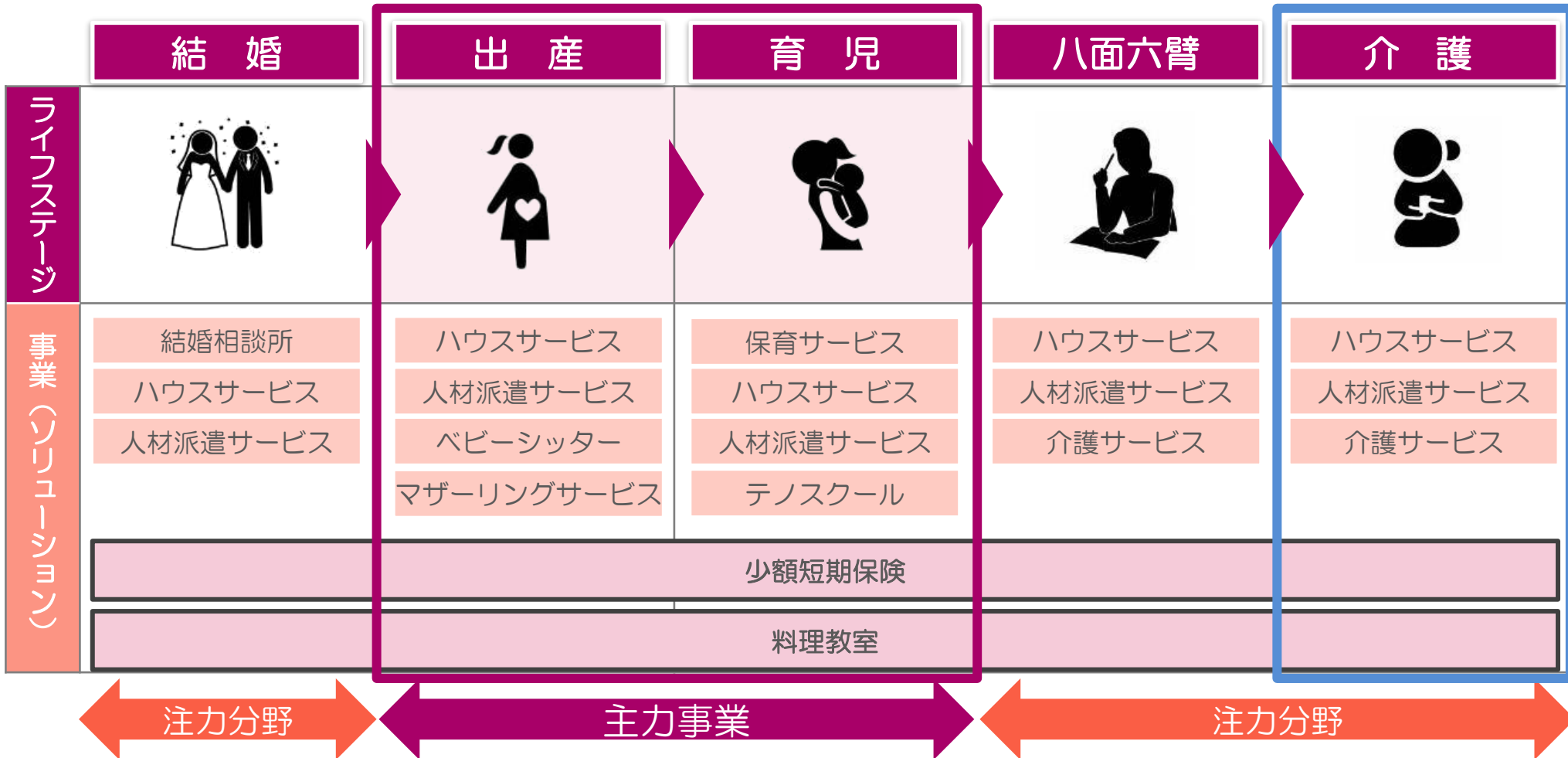
テノ、グループの貢献	設定する指標 (KPI)	現状	数値目標
・従業員の男女隔てなく世帯・家族内における責任を担える環境を作ること で、家事労働を支援します。	・男女別育児休暇取得率	2022年 男性100.0% 女性95.5%	2025年 男性60.0% 女性100.0%

5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。

テノ、グループの貢献	設定する指標 (KPI)	現状	数値目標
・女性のリーダーシップの発揮の機会が担保され、女性目線でのサービス創出が強みになる社風を確立します。	・管理職に占める女性の割合 ※ () 内は現場含む数値	2022年 28.0% (85.0%)	2030年 50.0% (87.5%)

女性が活躍する事業展開とは
 育児・家事・介護をしても働き続けられる事業

強化



中期経営計画と長期ビジョン

基本方針

2022年2月14日付

- 1) 公的保育事業、受託保育事業における事業拡大
(M&Aによる事業拡大も含む)
- 2) 「サービス品質」を追求し、選ばれる施設づくりを行う
- 3) 人事制度と人材育成制度の一体改革に着手する
- 4) 新規事業（保育以外の主力事業へ）を立ち上げる
(将来への投資として、多くの種まきを行う)
- 5)※ 介護事業における事業拡大に注力し、公的保育事業や受託保育事業に
続く柱の事業へ成長させる

※ 5. 介護事業における今後の事業拡大について新たに追加

「 teno VISION 2030 」

時代に求められるサービスを提供するプロフェッショナル集団となり、働き手にとって最も自己実現が可能な家庭総合サービスグループを目指す。

働き手視点

- >適切な運営で、心に余裕をもって勤務可能
- >グループ全体の収益が高いため、処遇は他社よりも高く設定されている
- >客観的な評価体系、しっかりした人事制度が構築されており、やりがいを感じる
- >人材育成体系が整っており、自己研鑽できる
- >グループ内の職種・働き方が多様で、自身の現状に合った働き方が選択できる

ビジョンの
実現により、
選ばれる
企業集団へ

顧客・クライアント視点

- >便利で安心、行き届いた質の高いサービス
- >時代のニーズに合った付加価値の提供
- >テノ・グループのビジョンに共感でき、圧倒的な親近感があり、信頼できる組織
- >極めて透明な情報開示と財務の健全性
- >対価に対するサービスレベルが適切である
- >個々の組織やチームの運営がうまくまわっていることが、外部からもみてとれる

長期ビジョン「teno VISION 2030」による事業拡大イメージ

-事業拡大戦略-

戦略1：保育関連事業の拡大

戦略2：新規事業の創出

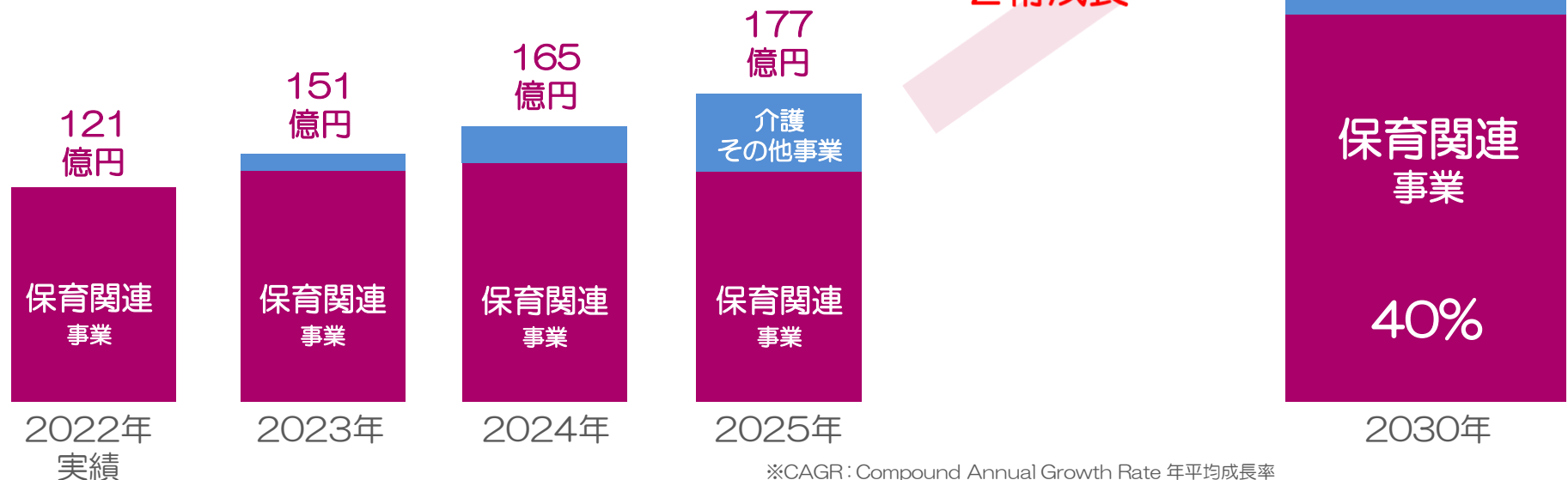
戦略3：M&Aによる事業拡大

売上高

500
億円

介護・その他事業
売上高
約6割に拡大

CAGR*
2桁成長



*CAGR: Compound Annual Growth Rate 年平均成長率

経済環境

- ・世界中でインフレが加速
 - 地政学的リスクや円安、国際情勢の緊迫による影響
 - ✓ 国内では、企業物価指数、消費者物価指数の上昇
 - ✓ 原油価格、原材料価格の高騰
- ・継続化する新型コロナウイルス感染症による影響
 - 第5類に移行も、今後の感染拡大と経済環境の先行き不透明
 - 規制緩和（営業時間、海外への出入国）

業界動向

- ・出生率の低下
 - 2022年の出生率が過去最低を記録
- ・2023年度の待機児童数過去最少
 - 出生率の低下、新型コロナウイルスの影響による預け控えが原因
- ・2023年4月に「こども家庭庁」設立
 - 少子化対策として、子どもを産み育てることのできる環境整備
子育て政策を強化し、社会全体でこども・子育てを支援
 - 保育士の処遇改善や、保育所の配置基準見直し、こども誰でも通園制度（保護者の就労等に関係なく入園可能）を発表

■ 2023年度の施策方針演説にて「次元の異なる少子化対策」を発表

- 子育てへの経済支援の強化
- 幼児教育、保育などの子育てサービスの充実

■ 2023年4月「こども家庭庁」の設置

こども・子育て支援加速化プラン

- ✓ライフステージを通じた子育てに係る経済的支援の強化
- ✓全てのこども・子育て世帯を対象とするサービスの拡充
- ✓共働き・共育ての推進
- ✓こども・子育てにやさしい社会づくりのための意識改革

主な施策

- **こども誰でも通園制度（仮称）の創設**
就労要件を問わず、全ての子育て家庭が保育所を利用できる
- **保育士の配置基準見直し**
より多くの保育士が必要に（4,5歳児の基準を30人に対して1人から25に対して1人配置）
- **保育士の更なる処遇改善**

東京都と福岡市は少子化対策として2023年度より新たな取り組みを開始

■ 東京都

子育て費用支援（以下、抜粋）

- 所得制限なく0～18歳の子供に月5千円を給付
- 妊娠届出時6万円（1万円から増額）
- 0～2歳 第2子保育料無償化

結婚支援

教育・保育の充実

他

■ 福岡市

子育て支援（抜粋）

- 第2子以降の保育無償化
- 産前・産後ヘルパー派遣（妊娠期からに利用拡大、第2子以降の利用拡大）
- 子育て世帯の住替え助成
- おむつと安心定期便
- 子ども医療費の助成（令和6年1月より対象を高校生までに拡大）

Section 4

トピックス

年 月	事業活動概要
2022年12月～ 2023年5月	第6回無償オンライン保育士講座 開催中
2023年1月	【M&A】 セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社の株式取得
2023年4月	【新規開設】 認可保育所 1施設（公的保育事業）
2023年4月	【組織再編】 連結子会社間の合併 存続会社：株式会社テノ。コーポレーション 消滅会社：株式会社テノ。サポート
2023年4月	【新規開設】 バイリンガル幼稚園「KDI福岡アイランドシティ」の開園を発表

(2022年12月~2023年5月)

第6弾

無償オンライン保育士講座

新型コロナウイルス感染症対策応援企画としては第6弾目の
無償オンライン保育士講座を開講中です。

累計登録者数は1,000名以上 視聴回数1万9千回（累計）を突破



(2023年1月26日)

新規事業

セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社の株式取得

(子会社化)

(持株比率：100%)

(目的) 女性のライフステージに応じた保険サービスの開発・提供



- 【事業内容】 賃貸住宅向けの少額短期保険の開発・販売
- ・自社内で商品開発を行える機能を有しており、顧客のニーズに合わせた独自の保険の開発が可能
 - ・勃興期から少額短期保険事業を行ってきたブランド力500を超える販売代理店網を有する



ほっぺるランド

(2023年4月1日)

新規オープン

ほっぺるランド相生橋つくだ



■ 基本情報

名称：ほっぺるランド相生橋つくだ

開園日：2023年4月1日

所在地：東京都中央区三丁目2番

定員数：108名（1歳児18名、2歳児21名、3～5歳児各23名）

最寄り駅：東京メトロ有楽町線・都営大江戸線
月島駅 徒歩2分

■ 保育理念

子どもには、安全な環境の中で身体的・精神的発達が得られる養護と教育が一体となった保育を提供します。

家庭のワークライフバランスを実現できる育児支援を行い、地域の人々や関係各機関と連携し、未来を担う子どもの成長を共に喜び合います。

■ 保育目標

- 生きる力を育てる
- 思いやりのある豊かな心と個性を育む
- 友だちと協力する力を養う
- 豊かな想像力や創造力、好奇心を育む

- 当社の100%子会社である株式会社テノ。コーポレーションを存続会社とし、同じく当社の100%子会社である株式会社テノ。サポートを消滅会社とする吸収合併を行いました。

目的

企業構造のスリム化により経営資源の有効活用と業務効率改善を行い、事業基盤の強化を図ること。

(2023年4月1日合併)

teno.

CORPORATION

全国展開の認可保育サービス
【ほpperランド】他



小規模認可保育サービス
【ほpperランド】他



teno.

SUPPORT

【院内・事業所内 保育所】



【学童保育所等】



ベビーシッター
サービス



介護サービス



保活事業



テノスクール(tenoSCHOOL)



人材派遣サービス



結婚相談所事業





新規オープン

KDI福岡アイランドシティ

(2024年4月1日開園予定)

入園受付中



■ 基本情報

名称：KDI福岡アイランドシティ

業態：バイリンガル幼稚園

開園日：2024年4月1日予定

所在地：福岡県福岡市東区香椎照葉6丁目 1階A区画

定員数：342名

(年少々クラス72名、年少クラス・年中クラス・年長クラス各90名)

最寄り駅：西鉄バス「福岡市総合体育館」バス停より徒歩6分

■ 保育理念

子どもには、安全な環境の中で身体的・精神的発達が得られる養護と教育が一体となった保育を提供します。

家庭のワークライフバランスを実現できる育児支援を行い、地域の人々や関係各機関と連携し、未来を担う子どもの成長を共に喜び合います。

■ 保育目標

- 生きる力を育てる
- 思いやりのある豊かな心と個性を育む
- 友だちと協力する力を養う
- 豊かな想像力や創造力、好奇心を育む

teno.

HOLDINGS

【お問合せ先】

株式会社テノ。ホールディングス

取締役管理本部長 岡田 基司

福岡県福岡市博多区上呉服町10-10呉服町ビジネスセンター5F

TEL : 092-263-3550 FAX : 092-263-3557

- 本資料に掲載する情報は、弊社の財務情報、経営方針、経営指標等の提供を目的とし、細心の注意を払って掲載しておりますが、掲載情報の完全性・正確性・安全性・その他についていかなる表明並びに保証を行うものではありません。
- 本資料には将来の見通しに関する記述が含まれております。これらは、現在入手可能な情報に基づき、弊社の仮定及び判断に基づくものであり、今後の経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定が将来実現しない可能性があります。
- 本資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 今後の新しい情報や将来の事業などの発生が生じたとしても、本資料に含まれる見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き必ずしも修正するとは限りません。